

米国土木学会 ASCE(American Society of Civil Engineers)が訪問(2011/5/16)

米国・ワシントン大学の Catherine M. Petroff 博士をはじめとする ASCE の調査団が港湾空港技術研究所の調査団とともに、仙台市荒浜地区、南三陸町などを視察し、その後、災害制御研究センターを訪れました。今村教授より、今回の震災へのセンターの対応や人間・環境系研究棟の被害など本学の被災状況について説明がなされました。ASCE 側からは国・県・市町村それぞれのレベルでの復興計画策定状況やその課題、財政的な支援、地震の震動と構造物・建築物の被害状況についての質問があり、今村教授・源栄教授が説明にあたりました。

ASCE 調査団からは、海岸構造物が一定の減災効果を発揮したようであるとのコメントを頂いたほか、復興計画での土地利用のゾーニングや、公共物はもとより住居も含めた復旧・復興費用の負担者に関する質問が寄せられました。また、津波浸水域の住宅再建については、米国などでみられる 1 階部分を開放構造として 2 階部分に居住部分を作る方法などが提案されました。土木工学的な視点のみならず、復旧・復興や備えについても大きな関心を持っているようでした。今回は状況を鑑みて現場の視察となりましたが、今後も協力関係を続けていくことを確認し、約 1 時間の会合を終了しました。



ASCE 訪問者（順不同，敬称略）：

Bryan N. Jones

Catherine M. Petroff

James N. Marino

Lesley Ewing

Ronald M. Noble